

蓮田市 地域包括ケア推進代表者会議の 設置の趣旨及び今後の進め方

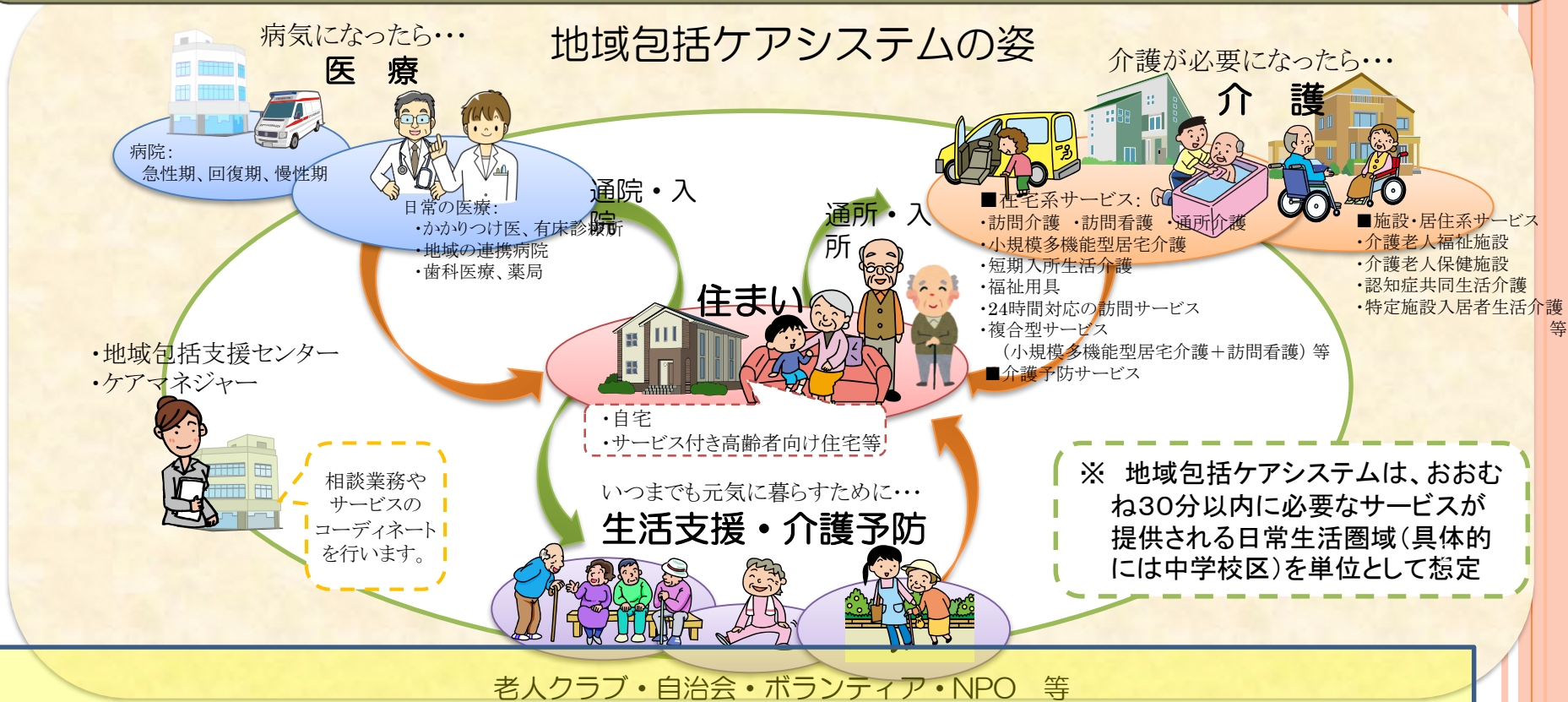
1

蓮田市地域包括ケア推進代表者会議
令和4年度第1回 令和4年7月26日

《蓮田市健康福祉部在宅医療介護課》

地域包括ケアシステムの構築について

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制(地域包括ケアシステム)の構築を実現。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差。**
- 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。**



「地域支援事業」は 地域包括ケアシステムを具体化するための取組の総称

- 地域包括ケア実現のため、地域支援事業の枠組みを活用し、以下の取組を充実・強化。
- あわせて要支援者に対するサービスの提供の方法を給付から事業へ見直し。
- これらを市町村が中心となって総合的に取り組むことで、地域で高齢者を支える社会が実現。

医療・介護連携

認知症施策

地域ケア会議

生活支援

介護予防

医療介護連携推進事業

医療・介護連携

連携強化

関係者に対する研修等を通じて、医療と介護の濃密なネットワークが構築され、効率的、効果的できめ細かなサービスの提供が実現

いただいたご意見を、施策に反映するという目的

認知症総合支援事業

認知症施策

施策
の
推進

初期集中支援チームの関与による認知症の早期診断、早期対応や地域支援推進員による相談対応等により認知症でも生活できる地域を実現

初期集中支援チームの検討委員会としての位置づけ

地域ケア会議

地域ケア会議

制度化
による
強化

多職種連携、地域のニーズや社会資源を的確に把握可能になり、地域課題への取組が推進され、高齢者が地域で生活しやすい環境を実現

自立支援型地域ケア会議

課題抽出型地域ケア会議

上位の会議として施策化

生活支援体制整備事業

生活支援

基盤整備

コーディネーターの配置等を通じて地域で高齢者のニーズとボランティア等のマッチングを行うことにより、生活支援の充実を実現

生活支援の現状や支援の進捗を報告

介護予防事業

介護予防

効率的な
取組の
推進

多様な参加の場づくりとリハビリ専門職等を活かすことにより、高齢者が生きがい・役割をもって生活できるような地域を実現

介護予防事業の現状や進捗を報告

蓮田市地域包括ケア推進代表者会議

5本柱の内容について、年2回会議を実施

- 地域支援事業5つの項目の中から、蓮田市の実施状況をご報告
- 各事業を推進していくためのご意見をいただき、施策に反映する